

# 国政報告

# 衆議院議員 福島 のぶゆき

プレス民主号外 2012年 農業政策版

民主党 プレス民主編集部 東京都千代田区永田町1-11-1 TEL.03-3595-9988



## 「初当選以来、農政ひとすじ!!!」

初当選以来、私福島 のぶゆきは、一貫して農林水産委員会に所属させていただきました。東京大学農学部農業経済学科に学び、経済産業省で産業政策に従事してきた私としては、近代日本の農業対工業、都市対農村の枠組みを超えて、農業を核とした地域循環型の経済システムを実現し、農村こそ豊かに暮らせる社会を創ることが、政治家としてのひとつの目標でもあります。このような信念に基づき、農林水産委員会や党の各種会議、議員連盟等で、積極的に発言し、政策実現に向けて行動してまいりました。

### ■戸別所得補償などの政策実現に奔走

政権交代後の政策転換で評価されている政策の一つが戸別所得補償制度でありましょう。私はこの制度を作り上げる過程で、多くの地元の生産者の皆様方とも意見交換をさせていただき、品目別の単価の設定や申請書の記入方法など運用のあり方などについて、現場の実態を踏まえた提案をしてまいりました。こうしたことの結果、2010年の農家総所得は14年ぶりに増加に転じ、稲作農家の所得が2011年には前年比約2割増となるなど農業にも明るい兆しが見えてきております。まだ始まったばかりの制度ですので不十分な点は現場の声を聞きながら改めるとともに、「猫の目農政」と言われることのないよう制度の恒久化に向けて尽力して参ります。



農林水産委員会で質問に立つ

### ■「農政新撰組」と呼ばれて

こうした現場の声を踏まえた政策実現活動は、何人かの若手議員とともに日本農業新聞で農政の「新撰組」と名付けられるようになりました。農業の6次産業化の推進に向けて地元の芽をいくつも発掘し、そのうちのいくつかは国の支援を得て事業化されました。党の農林水産関係の税制ワーキングチームの責任者として政府と大議論を繰り広

げ、当初は廃止とされていた農林漁業用の重油の免税措置の延長や肉用牛販売措置への特例措置の継続を実現させました。さらに、養豚議連副幹事に就任するなど畜産分野でも「産業政策」の手法を取り入れた競争力強化の提案をしております。



数々の新聞で取り上げられる

### ■TPP交渉慎重派の論客

今、日本農業にとっての一番の心配事はTPP交渉参加問題です。私はわが国にとって自由貿易の推進は重要であると考えますが、経済産業省出身者として経済産業省や外務省の内部での議論を聞き、またアジア諸国の大使館の関係者からの情報収集をする中で、TPP協定は現時点ではわが国の国益にかなう貿易の枠組みではないと判断しています。すなわち、すべての品目の関税をゼロとすることを前提とし、かつアメリカ主導で密室でルール作りが進められているTPP交渉は、他の経済連携協定と比べると極めて特殊です。TPPIは、アジア地域の自由貿易推進につながる保証はなく、すでにわが国がルールメイキングに関与できる余地もありません。もしコメの関税がゼロになったら一俵3,000円台と言われている外国産コシヒカリとどう

(裏面に続く)

やって競争できるのか?私は、党の経済連携プロジェクトチームの役員として、そうした現場の実態や経済理論を踏まえた論陣を張り、まさに体を張ってTPP交渉への拙速な参加を阻止して参りました。農業・農村を守ることと自由貿易の推進を両立するための戦略を構築するために、引き続き議論をリードしてまいります。



TPP慎重派の論客としてテレビにも出演



## ■いざというときに役立つ地元議員として

3.11東日本大震災とそれに伴う原発の事故を受けて、私は被災地選出の議員として党の原子力被害対策のワーキングチームの座長に就任し、農林水産関係の風評被害対策に奔走してまいりました。まだすべてが収束したとはいえませんが、JAなどの関係団体の協力もいただき茨城県の農林水

産関係は全国に先駆けて整然と補償金を受け取れるようになりました。また津波の被害を受けた水戸市常澄地区や地震で甚大な被害を受けた霞ヶ浦用水などの早期復旧も実現させました。さらに本年5月に筑西市や桜川市を襲った竜巻被害では、被災したビニールハウスの復旧費用の補助などを異例の速さで実現させました。土地改良関係予算についても、全体の額が減られる中で、平成22年には21億円の予算を平成23年には48億円に倍増させるなど、地元の関係団体と連携した成果を挙げております。地元の「代議士」として、これまで培ってきたさまざまな人脈を活かしながら、いざいざいときに役立つ政治家でありたいと思います。



鹿野農水大臣に風評被害対策を陳情→

## 農は国の礎(いしづえ)

私が日本の農業が大事だと考えるのは、わが国では四季折々の農作業のリズムに合わせてさまざまな祭事や行事・文化が生まれ、日本人の美徳である勤勉さや協調性も、温暖湿潤な気候の中で自然と調和しながら営農してきた先達たちが引き継いできたものであると思うからです。日本の文化と社会は農業を基盤とし成立していると言っても過言ではありません。農のない日本は、たとえ日本語を話す人たちの国であったとしてももはや日本ではありません。このような目には見えないけど大切な価値を守ることこそ、本当の意味での「保守」であり、政治の重要な役割であるというのが私の信念です。

【党農林水産関係役職一覧】原子力災害に関する農林水産被害緊急対策ワーキングチーム 座長/農山漁村六次産業化ワーキングチーム 座長/農林水産税制検討ワーキングチーム 副座長/農業農村整備事業ワーキングチーム 副座長

【農業関係議員連盟等加入一覧】食糧とエネルギーの自給率向上と成長産業としての環境政策を推進する議員連盟 事務局長/民主党内水面漁業推進議員連盟 副幹事長/民主党養豚議員連盟 副幹事長/奥山水源の森・保全・再生議員連盟/お茶振興議員連盟/協同組合研究振興議員連盟/国連世界食糧計画(WFP)国会議員連盟/米消費拡大・純米酒推進議員連盟/食の安全研究議員連盟/森林・林業・林産業活性化推進議員連盟/水産振興議員連盟/都市農業推進議員連盟/菜の花議員連盟/二宮尊徳思想研究会/日本食文化の世界無形文化遺産登録推進議員連盟/日本の味 マグロと水産資源の持続的利用を考える議員連盟/日本の森を元気にする議員連盟/農産物輸出促進議員連盟/民主党果樹農業振興議員連盟/民主党競馬産業問題研究会/民主党獣医師問題議員連盟/民主党食と農の再生議員連盟/民主党森林環境政策議員懇談会/民主党たばこ産業政策議員連盟/民主党捕鯨対策議員協議会/民主党ワイン産業振興議員連盟/有機農業推進議員連盟/養鶏問題に関する議員連盟(50首順)



## のぶゆき 衆議院議員 福島伸享

昭和45年8月生まれ(42歳)  
茨大附属中、水戸一高を経て東京大学農学部を卒業。  
通商産業省(現・経済産業省)に入省後はバイオ政策、橋本内閣の行政改革等に携わる。  
03年内閣官房にて特区の設立に尽力し退官。  
第45回衆院選にて三度目の挑戦で初当選。  
現在、農林水産委員会・内閣委員会・震災復興特別委員会(理事)に所属。  
水戸市千波町在住、気象予報士の妻と長男の3人家族

福島 のぶゆき  
メルマガ登録はこちら  
reg@fukuchan-japan.  
sakura.ne.jp へ空メール

